

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

2016年3月期 第2四半期 決算説明会

2015年11月6日
オリンパス株式会社
代表取締役社長執行役員
笹 宏行

上期実績

前年同期比：2桁増収と収益力向上により、各利益項目で大幅増益

業績予想比：売上高・全利益項目において業績予想を上回り、大変好調に推移

医療事業

上期としては4期連続となる過去最高業績を更新し、連結業績を牽引

通期業績見通し

中国市場減速等の不確実要素を考慮し、各利益見通しを据え置き

2016年3月期第2四半期実績（連結）

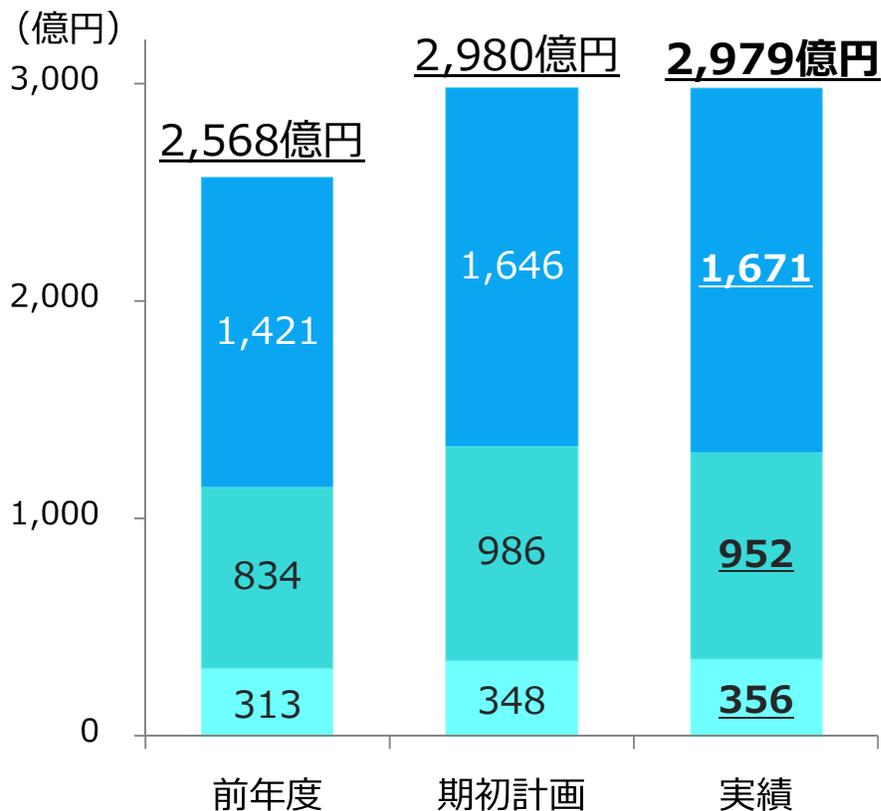
- ① 医療事業が牽引し、リーマンショック以降、過去最高の501億円の営業利益を計上
- ② 経常利益・当期純利益においても、大幅な増益となり、計画を上回る実績

(単位：億円)	2015年3月期 2Q累計（4-9月） （実績）	2016年3月期 2Q累計（4-9月） （期初計画）	2016年3月期 2Q累計（4-9月） （実績）	前年 同期比	計画比
売上高	3,550	3,900	3,958	+12%	+1%
営業利益 （営業利益率）	384 (10.8%)	450 (11.5%)	501 (12.7%)	+30%	+11%
経常利益 （経常利益率）	297 (8.4%)	370 (9.5%)	435 (11.0%)	+47%	+18%
当期純利益（※） （当期純利益率）	223 (6.3%)	280 (7.2%)	358 (9.0%)	+60%	+28%

医療事業 : 上期好調の要因

- ① 前年比：主力の内視鏡を中心に販売が好調に推移したことにより、全分野で2桁成長
- ② 計画比：高い目標を掲げる外科は計画に対して若干の未達であったが、内視鏡・処置具がカバーし、全体では計画を達成

【売上高 前年比・計画比】



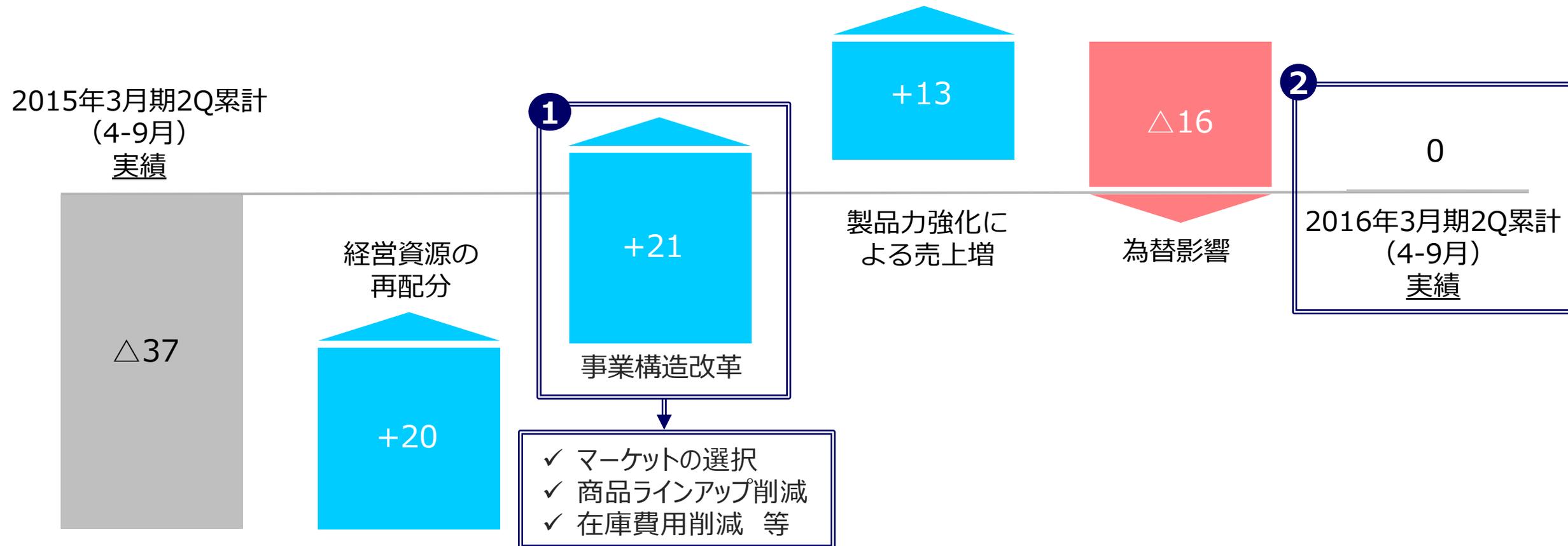
	前年比	計画達成率	
内視鏡	① +18%	② 102%	1Qで国内の予算執行停滞等による影響があったものの、2Q以降、全地域でスコープを中心に販売が好調に推移し、前年・計画を上回る実績
外科	+14%	97%	主力の外科内視鏡が好調に推移したことにより、前年比2桁成長。ほぼ計画通りの実績
処置具	+14%	102%	一昨年から販売体制強化に取り組み、好調な販売が継続する北米をはじめ、日欧亜においても堅調に推移し、前年・計画を上回る実績

映像事業：事業構造改革の進捗

- ① 事業構造改革による販管費削減等で21億円の利益改善
- ② 営業損益は前年同期比約38億の改善となり、上期としては6期ぶりの黒字化

【営業利益増減分析】 ※BtoBビジネス区分変更後

(単位：億円)



2016年3月期 通期業績見通し

- ① 中国市場減速等の不確実要素を考慮し、営業利益以下の各利益見通しを据え置き
- ② 営業利益 : 8期ぶりに1,000億円を超える見通し
- ③ 当期純利益 : 過去最高となる560億円の見通し

(単位：億円)	2015年3月期 通期 (実績)	2016年3月期 通期 (最新見通し)	増減額	前期比
売上高	7,647	8,160	+513	+7%
営業利益 (営業利益率)	910 (11.9%)	② 1,000 (12.3%)	+90 (+0.4pt)	+10%
経常利益 (経常利益率)	728 (9.5%)	① 860 (10.5%)	+132 (+1.0pt)	+18%
当期純利益 (当期純利益率)	△87 (-)	③ 560 (6.9%)	+647 (-)	-

医療事業 : 下期の医療事業環境と取り組み

- 中国など一時的な減速懸念は残るものの、販売強化等により安定成長を見込む

下期売上高計画（前年同期比）

国内

593億円（+9%）

- ・ 予算執行は停滞傾向だが、高齢化による検査・治療の増加傾向は継続
- ・ VPP*による更新加速や、戦略製品（4K/エネルギー新製品）投入により販売強化

海外

2,578億円（+4%）

- ・ 下期為替前提：ドル：115円、ユーロ：130円
- ・ 為替影響を除いた実質ベースで+7%前後の成長見通し

北米

- ・ 内視鏡の安定的な更新需要に加え、手術室での内視鏡利用の需要増が上期から継続

欧州

- ・ ドイツ、イギリス、イタリア等の主要国において、全分野で上期に続き堅調に推移する見込み

アジア

- ・ 中国の景気後退、反腐敗運動継続等による減速懸念
- ・ 中国の中長期的な内視鏡需要拡大は不変、新製品販売により売上成長を継続

- 2016年4月スタートの5カ年計画
- 医療領域へ経営資源を重点投入し、持続的な成長を実現

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

2016年3月期 第2四半期 連結決算概況

2015年11月6日
オリンパス株式会社
取締役専務執行役員
経営統括室長 CFO
竹内 康雄

2016年3月期 第2四半期 連結業績および事業概況

2016年3月期 第2四半期実績 ①連結業績概況

収益性の大幅な向上

- ① 第2四半期・上期として過去最高となる営業利益率
- ② 粗利率は大幅に改善 (+2.9pt)、戦略投資による販管費率の上昇を吸収

(単位：億円)	2Q累計 (4-9月)				2Q実績 (7-9月)		
	2015年3月期	2016年3月期	増減額	前年同期比	2015年3月期	2016年3月期	前年同期比
売上高	3,550	3,958	+408	+12%	1,880	2,082	+11%
売上総利益 (売上総利益率)	2,254 (63.5%)	2,628 (66.4%)	+374 (+2.9pt)	+17%	1,190 (63.3%)	1,410 (67.7%)	+19%
販管費 (販管費率)	1,870 (52.7%)	2,127 (53.7%)	+257 (+1.0pt)	+14%	956 (50.9%)	1,081 (51.9%)	+13%
営業利益 (営業利益率)	384 (10.8%)	501 (12.7%)	+117 (+1.9pt)	+30%	234 (12.4%)	329 (15.8%)	+41%
経常利益 (経常利益率)	297 (8.4%)	435 (11.0%)	+138 (+2.6pt)	+47%	185 (9.8%)	268 (12.9%)	+45%
当期純利益(※) (当期純利益率)	223 (6.3%)	358 (9.0%)	+135 (+2.7pt)	+60%	142 (7.5%)	191 (9.2%)	+34%
円/USドル	103円	122円	19円 (円安)				
円/Euro	139円	135円	△4円 (円高)				
影響額：売上高	-	+263億円					
影響額：営業利益	-	+93億円					

2016年3月期 第2四半期実績 ②セグメント別概況

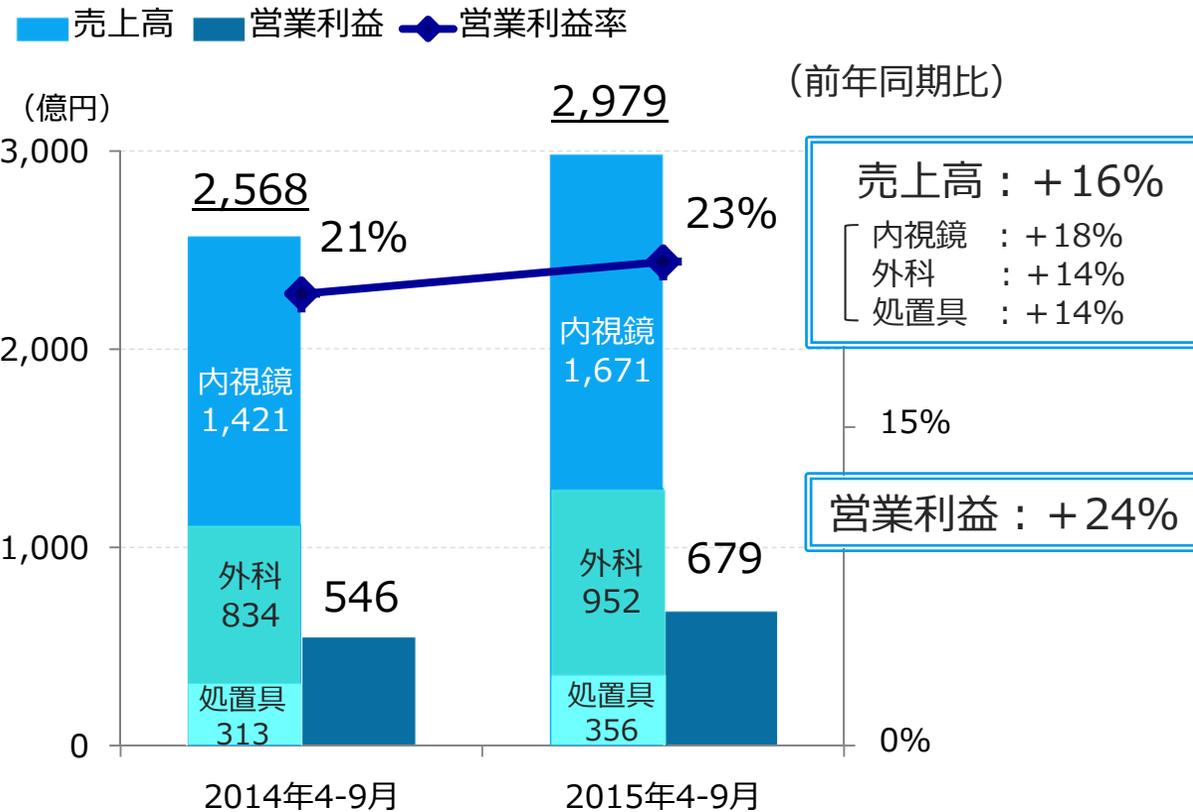
- ① 医療事業は、2013年3月期以降、過去最高の業績（売上高:2,979億円・営業利益:679億円）
- ② 医療・科学・映像の3事業で増収・増益（映像事業は前年同期比+38億円の大幅改善）

(単位：億円)		2Q累計（4-9月）				2Q実績（7-9月）			
		2015/3	2016/3	増減額	前年同期比	2015/3	2016/3	増減額	前年同期比
医療	売上高	2,568	2,979	+412	+16%	1,359	1,585	+226	+17%
	営業利益	546	679	+133	+24%	304	428	+124	+41%
科学	売上高	467	485	+18	+4%	256	257	+1	+1%
	営業利益	13	33	+21	+165%	15	26	+10	+68%
映像(※)	売上高	377	415	+38	+10%	191	200	+9	+5%
	営業利益	△37	0	+38	-	△18	△11	+7	-
その他(※)	売上高	139	79	△60	△43%	74	40	△34	△47%
	営業利益	△1	△33	△31	-	△2	△19	△17	-
全社・消去	売上高	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業利益	△136	△179	△43	-	△66	△95	△30	-
連結合計	売上高	3,550	3,958	+408	+12%	1,880	2,082	+202	+11%
	営業利益	384	501	+117	+30%	234	329	+95	+41%

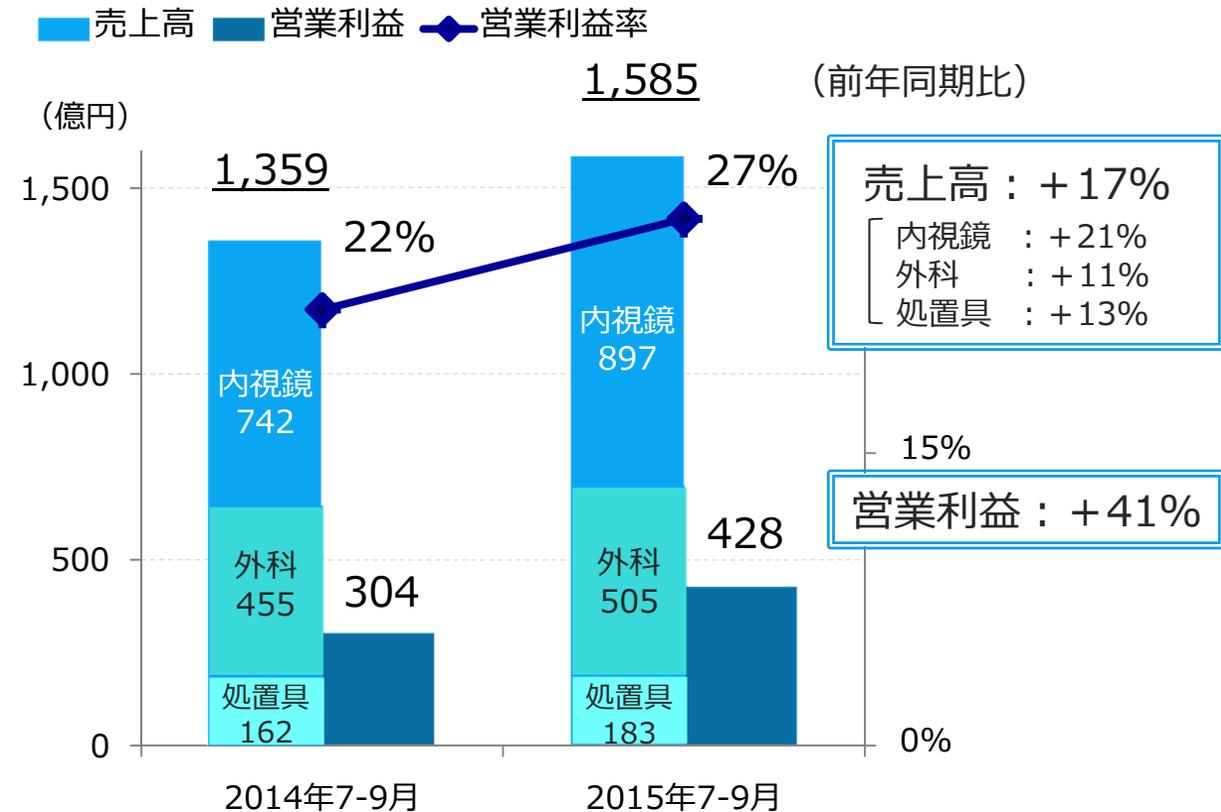
2016年3月期 第2四半期実績 ③医療事業

- 内視鏡、外科、処置具全分野が増収・増益となり、売上高、営業利益ともに2桁成長を記録
- 戦略投資による費用増を大幅な増収効果でカバーし、営業利益率も1.5pt上昇

上期 (4-9月)



2Q (7-9月)

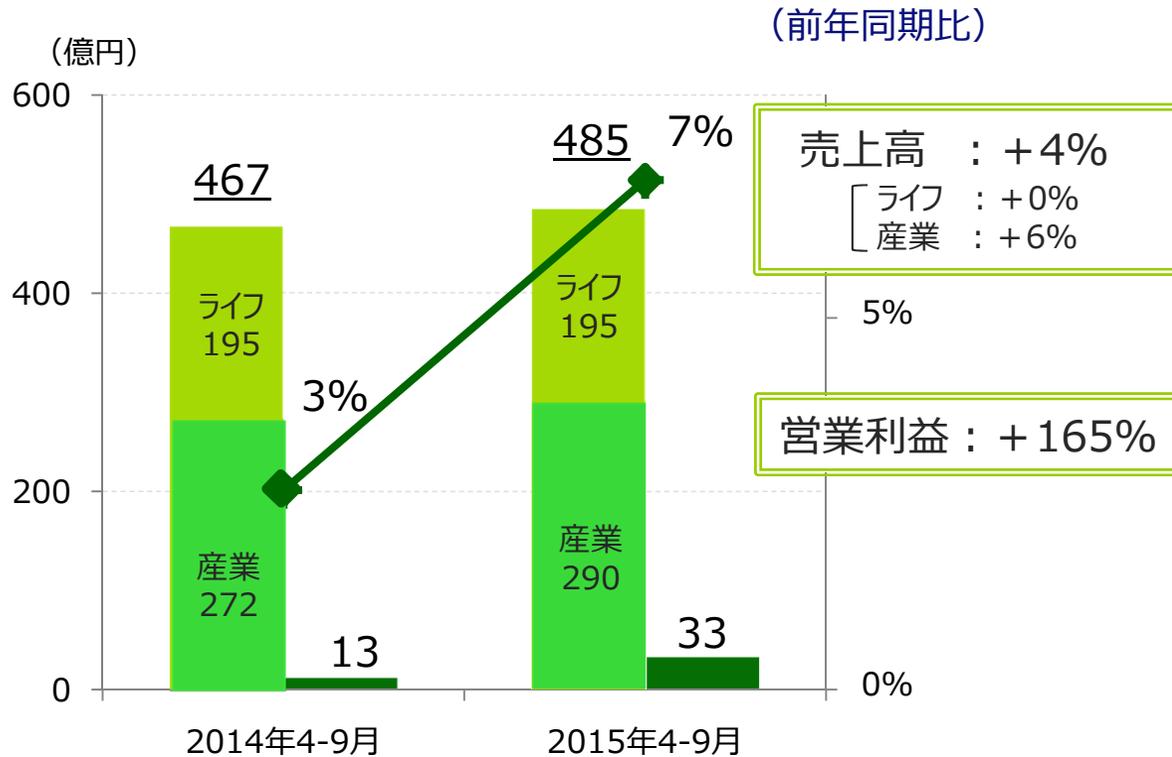


2016年3月期 第2四半期実績 ④科学事業

- スマートフォン市場向けの工業用顕微鏡が業績を牽引し、増収増益を確保
- 製造原価率改善等、継続的なコスト削減により営業利益率が大幅上昇

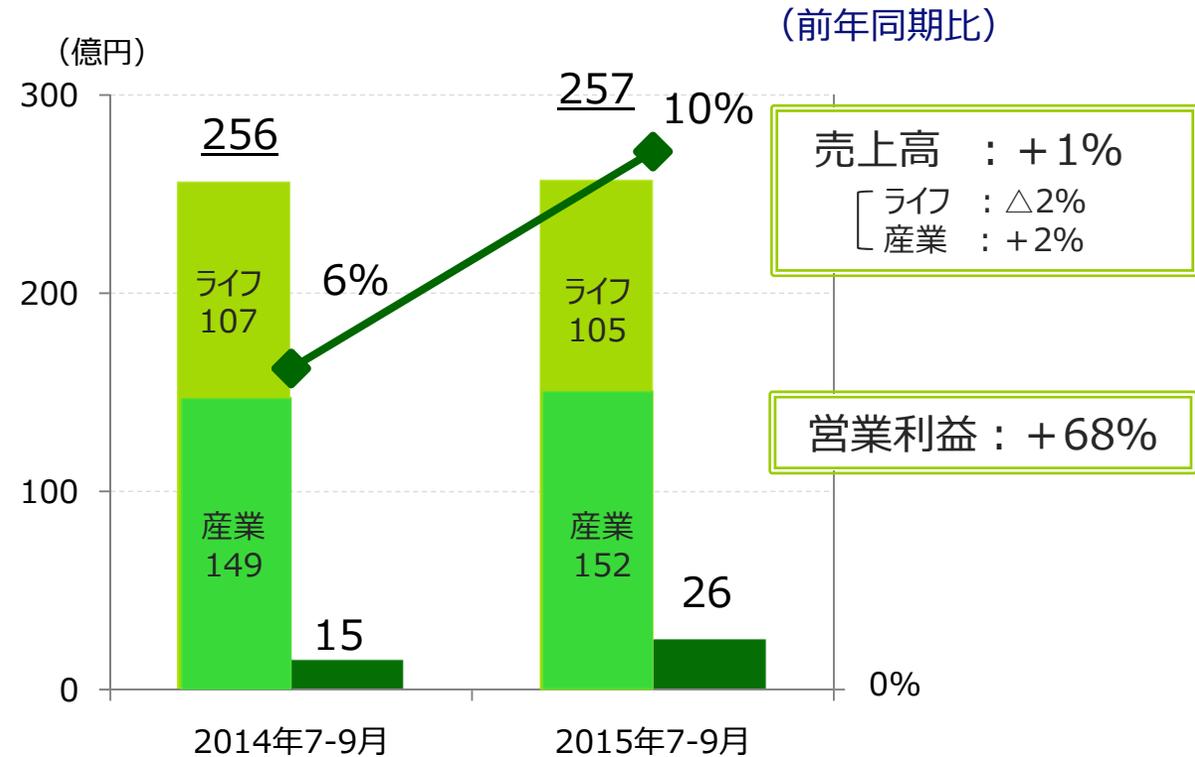
上期 (4-9月)

売上高 営業利益 営業利益率



2Q (7-9月)

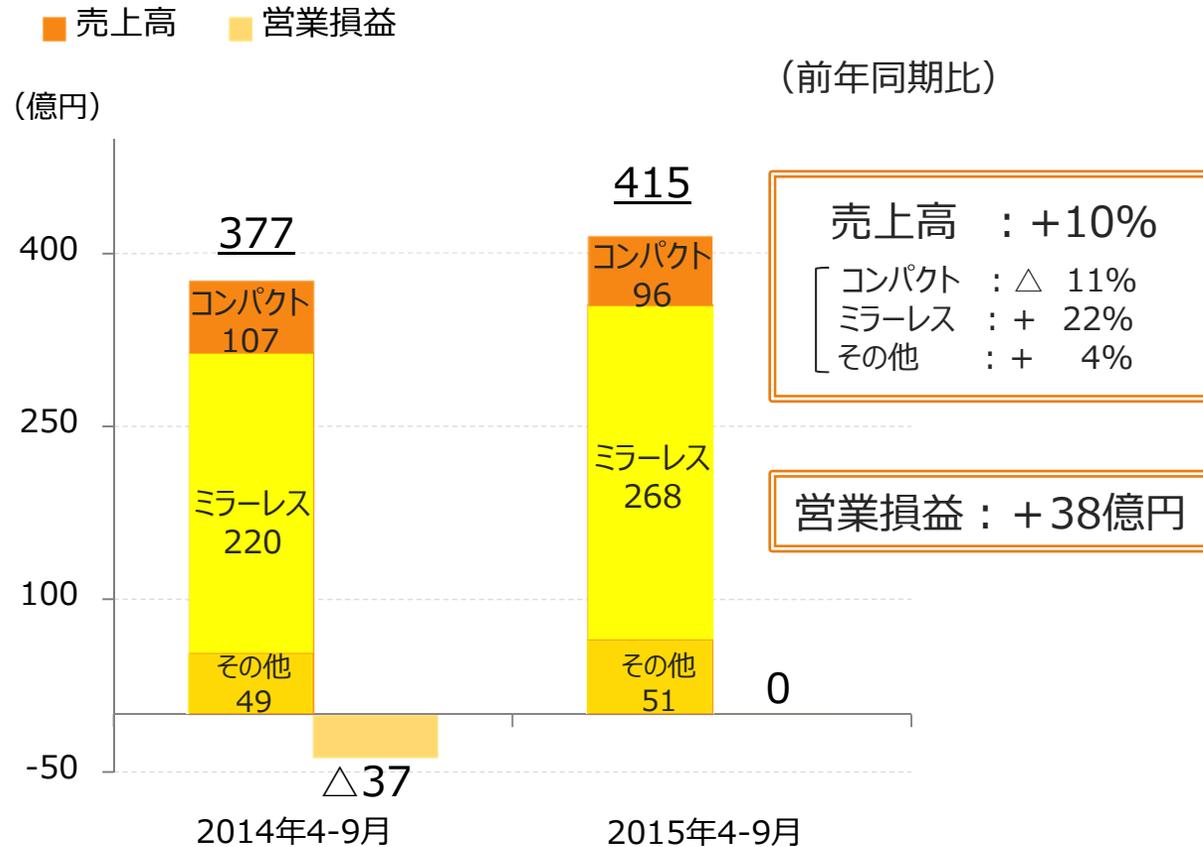
売上高 営業利益 営業利益率



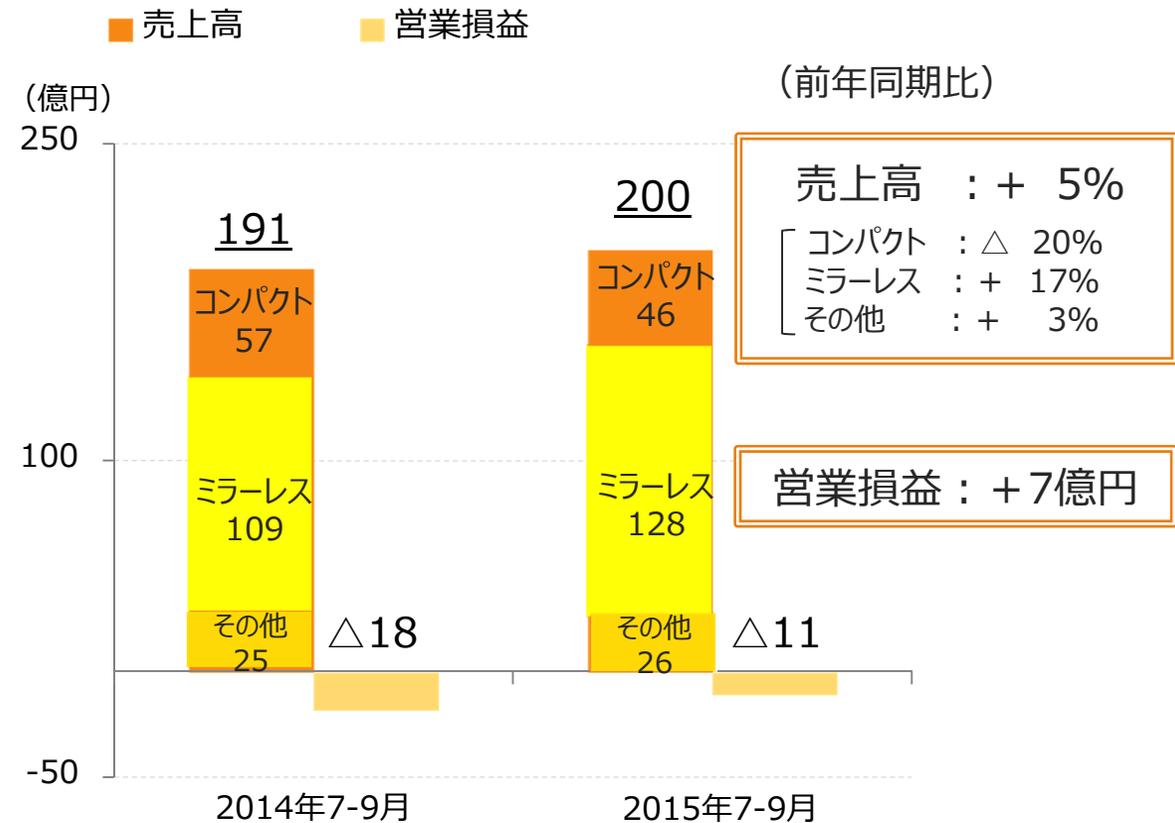
2016年3月期 第2四半期実績 ⑤映像事業

- OM-D・PENシリーズが日・欧で好調に推移し、ミラーレス売上高は前年同期比約22%増収（販売台数21%増）
- ミラーレス売上増、販管費削減等により、為替マイナス分（△16億円）を吸収し、営業損益は黒字化を達成

上期（4-9月）



2Q（7-9月）

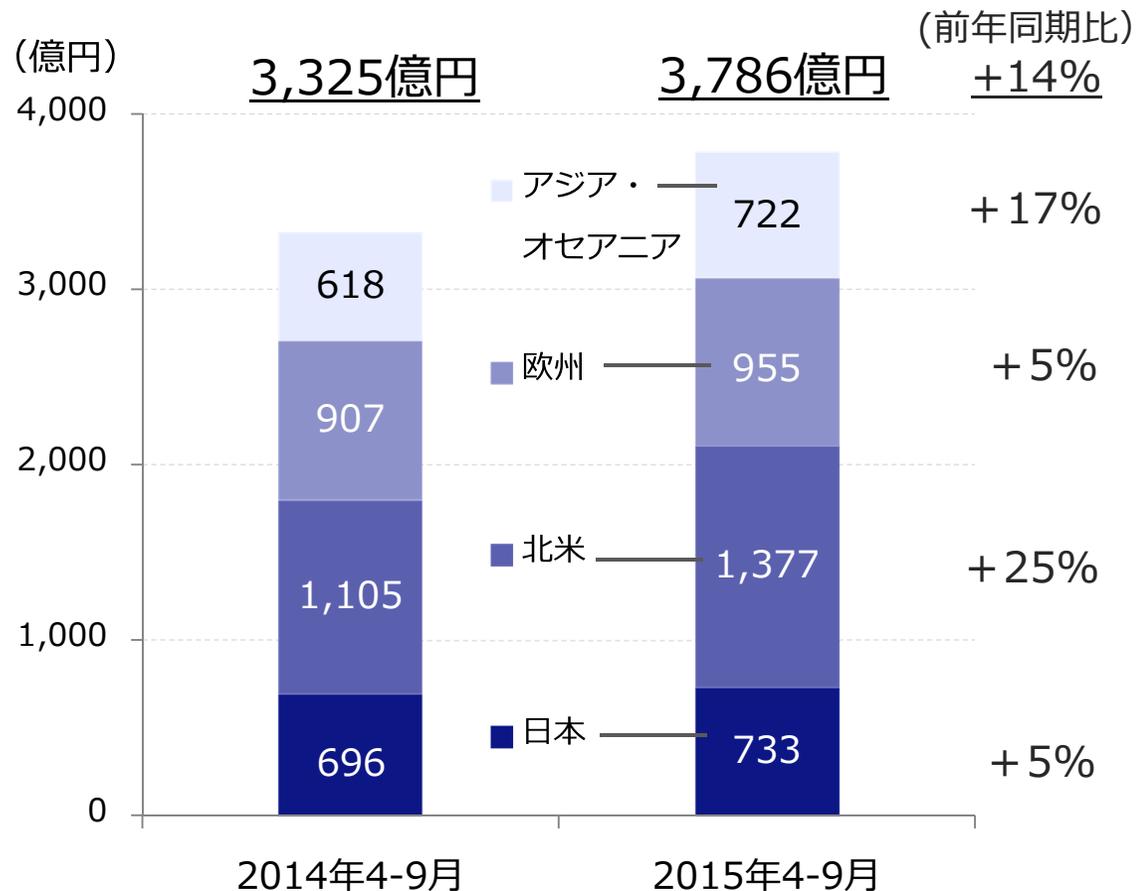


2016年3月期 第2四半期実績 ⑥地域別売上高

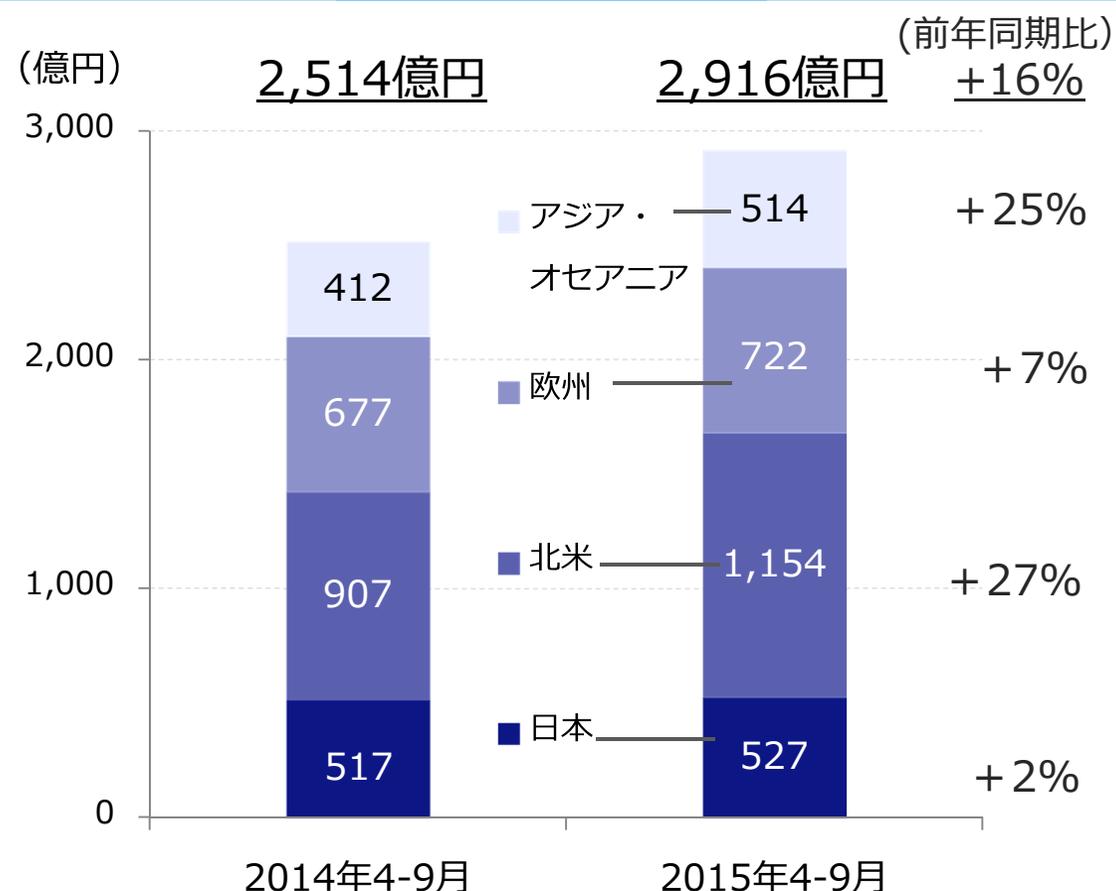
- 連結 : 好調な医療事業が牽引し、全地域で増収
- 医療 : 海外ビジネスが好調に推移し、全地域で増収

(日本：1Qで病院の予算執行に停滞が見られたが、2Q以降回復し、増収)

連結 (4-9月) (※)



医療 (4-9月)



連結貸借対照表 (2015年9月末)

- ① 自己資本比率は 36.9%、有利子負債は約380億円圧縮
- ② デジカメ在庫の削減は予定通りに進捗し、48億円減の189億円

(単位：億円)	2015年 3月末	2015年 9月末	増減額		2015年 3月末	2015年 9月末	増減額
流動資産 (デジカメ在庫)	5,775 (237)	5,485 (189)	△290 (△48)	流動負債	3,748	3,445	△303
有形固定資産	1,501	1,611	+110	固定負債 (内：社債・長期借入金)	3,495 (2,533)	3,199 (2,241)	△296 (△292)
無形固定資産	1,806	1,706	△101	純資産	3,573	3,921	+349
投資その他資産	1,732	1,763	+31	(自己資本比率)	(32.9%)	(36.9%)	(4.0pt)
資産合計	10,816	10,565	△250	負債 純資産 合計	10,816	10,565	△250

- ① 有利子負債： 3,161億円 (2015年3月末比 △ 383億円)
- 純有利子負債： 1,213億円 (2015年3月末比 △ 233億円)

連結キャッシュフロー計算書（2015年4月～2015年9月）

① FCF：好調な事業利益を主要因として、前年同期比1.8倍となる274億円を確保

(単位：億円)	2015年3月期2Q	2016年3月期2Q	増減
売上高	3,550	3,958	+408
営業利益	384	501	+117
(営業利益率：%)	10.8%	12.7%	+1.9pt
営業CF	296	549	+253
投資CF	△143	△ 275	△132
財務CF	△597	△ 431	+165
キャッシュフロー	△444	△ 157	+286
フリーキャッシュフロー	153	274	+121
現金及び現金同等物期末残高	2,086	1,949	△138
減価償却費	174	194	+20
のれん償却額	45	50	+5
設備投資額	174	318	+144

2016年3月期 通期業績見通し

2016年3月期 通期業績見通し

■ 営業利益以下の各利益項目は変更無し

(単位：億円)	2015年3月期 (実績)	2016年3月期 (最新見通し)	前期比 増減額	前期比 (%)	2016年3月期 (期初見通し)
売上高	7,647	8,160	+513	+7%	8,100
営業利益 (営業利益率)	910 (11.9%)	1,000 (12.3%)	+90 (+0.4pt)	+10%	1,000 (12.4%)
営業外収支	△182	△140	+42	—	△140
経常利益 (経常利益率)	728 (9.5%)	860 (10.5%)	+132 (+1.0pt)	+18%	860 (10.6%)
当期純利益 (当期純利益率)	△87 (—)	560 (6.9%)	+647 (—)	—	560 (6.9%)
円/USドル	110円	118円	8円 (円安)		
円/Euro	139円	132円	7円 (円高)		
影響額：売上高	-	+161億円			
影響額：営業利益	-	+57億円			

*下期為替前提

円/USドル : 115円
円/Euro : 130円

2016年3月期 セグメント別業績見通し

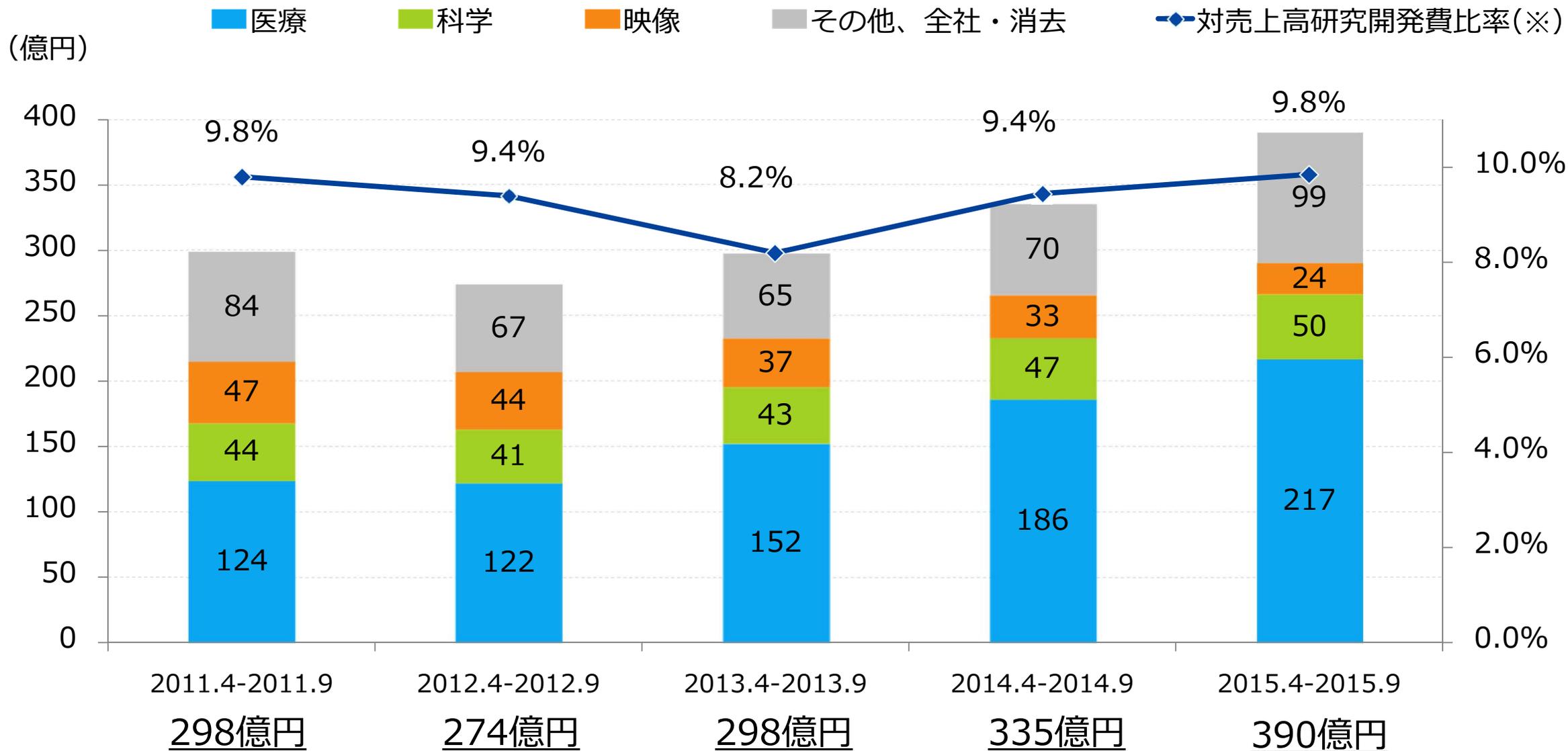
- 医療事業が全社業績を牽引
- 映像事業は上期の売上増を反映、下期の見通しについては据え置き

(単位：億円)		2015/3 (実績)	2016/3 (最新見通し)	前期比 増減額	前期比 (%)	2016年3月期 (期初見通し)
医療	売上高	5,583	6,150	+567	+10%	6,150
	営業利益	1,249	1,370	+121	+10%	1,370
科学	売上高	1,039	1,100	+61	+6%	1,100
	営業利益	68	80	+12	+17%	80
映像 (※)	売上高	794	760	△ 34	△ 4%	700
	営業利益	△ 117	0	+117	-%	0
その他 (※) (新事業)	売上高	230	150	△ 80	△ 35%	150
	営業利益	△ 10	△ 120	△ 110	-%	△ 120
全社・消去	売上高	-	-	-	-%	-
	営業利益	△ 281	△ 330	△ 49	-%	△ 330
合計	売上高	7,647	8,160	+513	+7%	8,100
	営業利益	910	1,000	+90	+10%	1,000

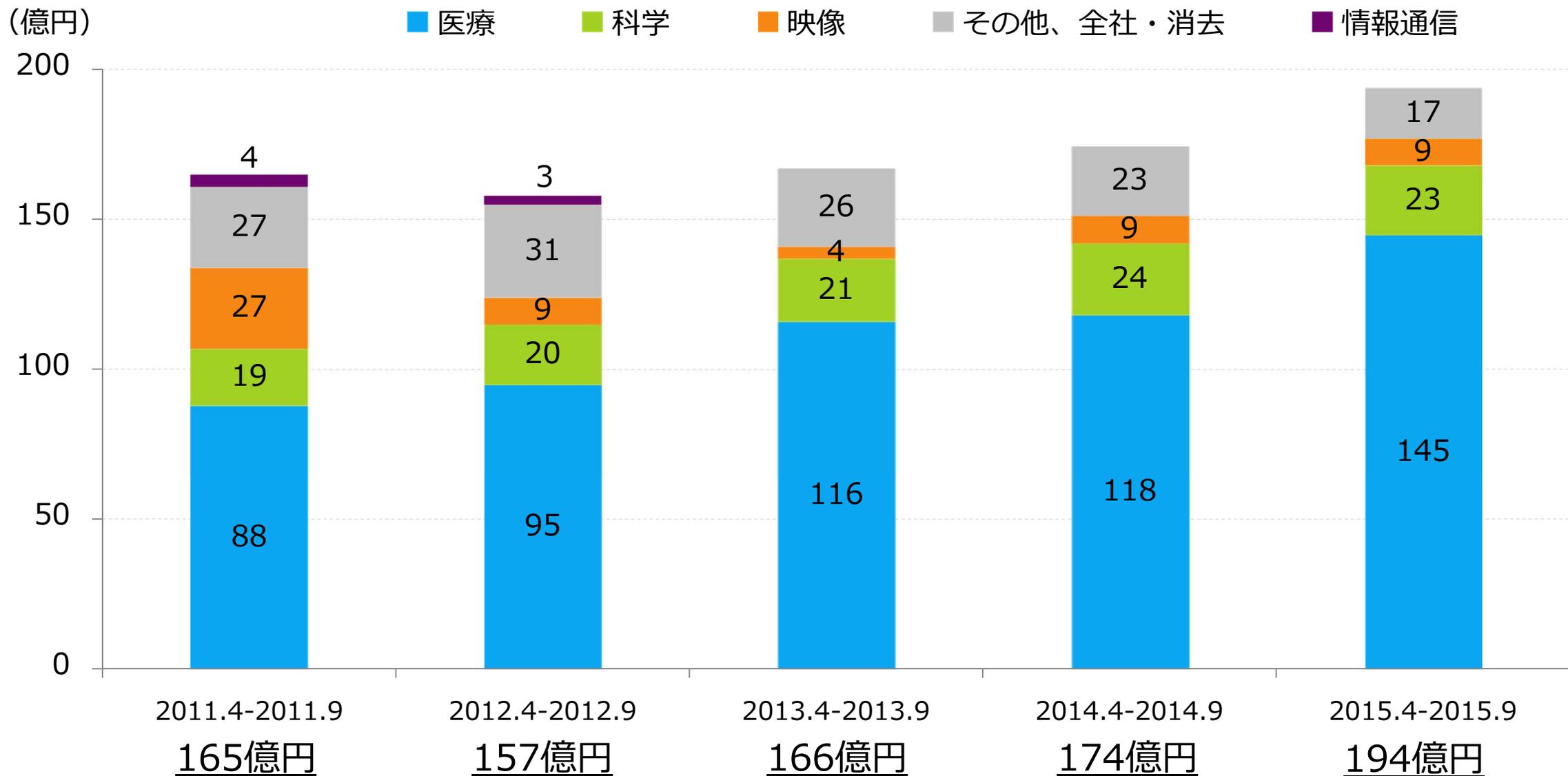
OLYMPUS

參考資料

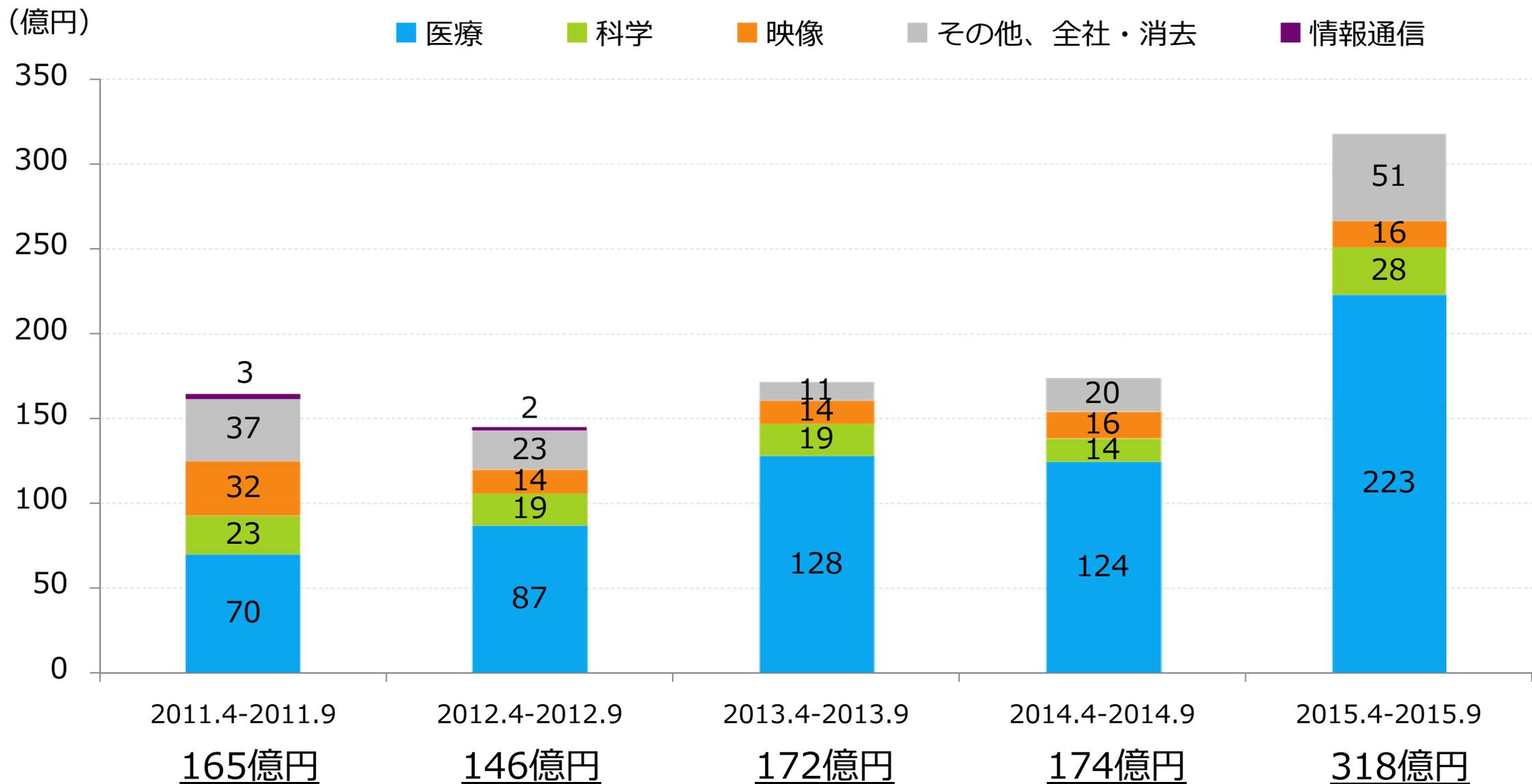
【参考資料】研究開発費



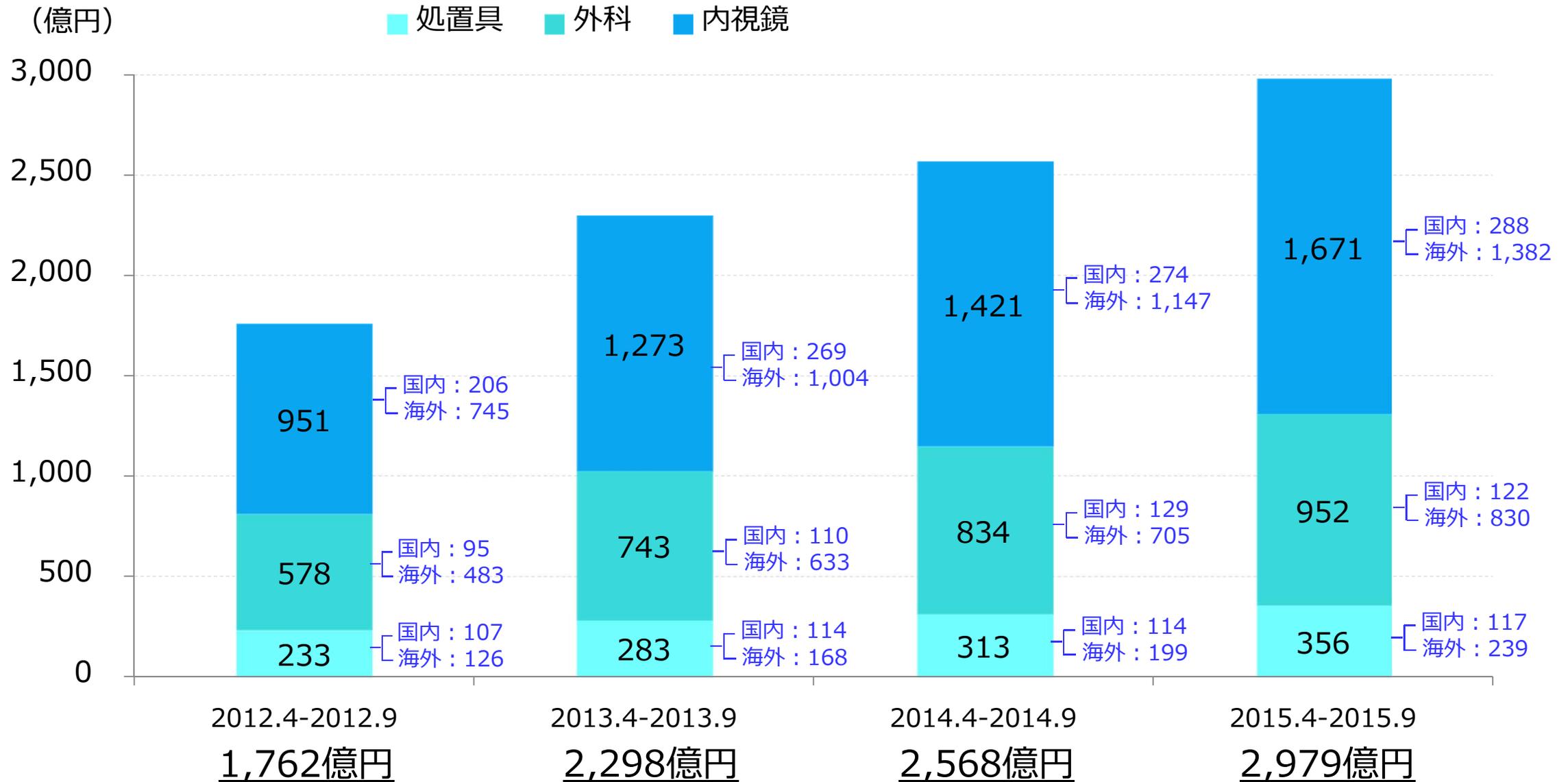
【参考資料】減価償却費



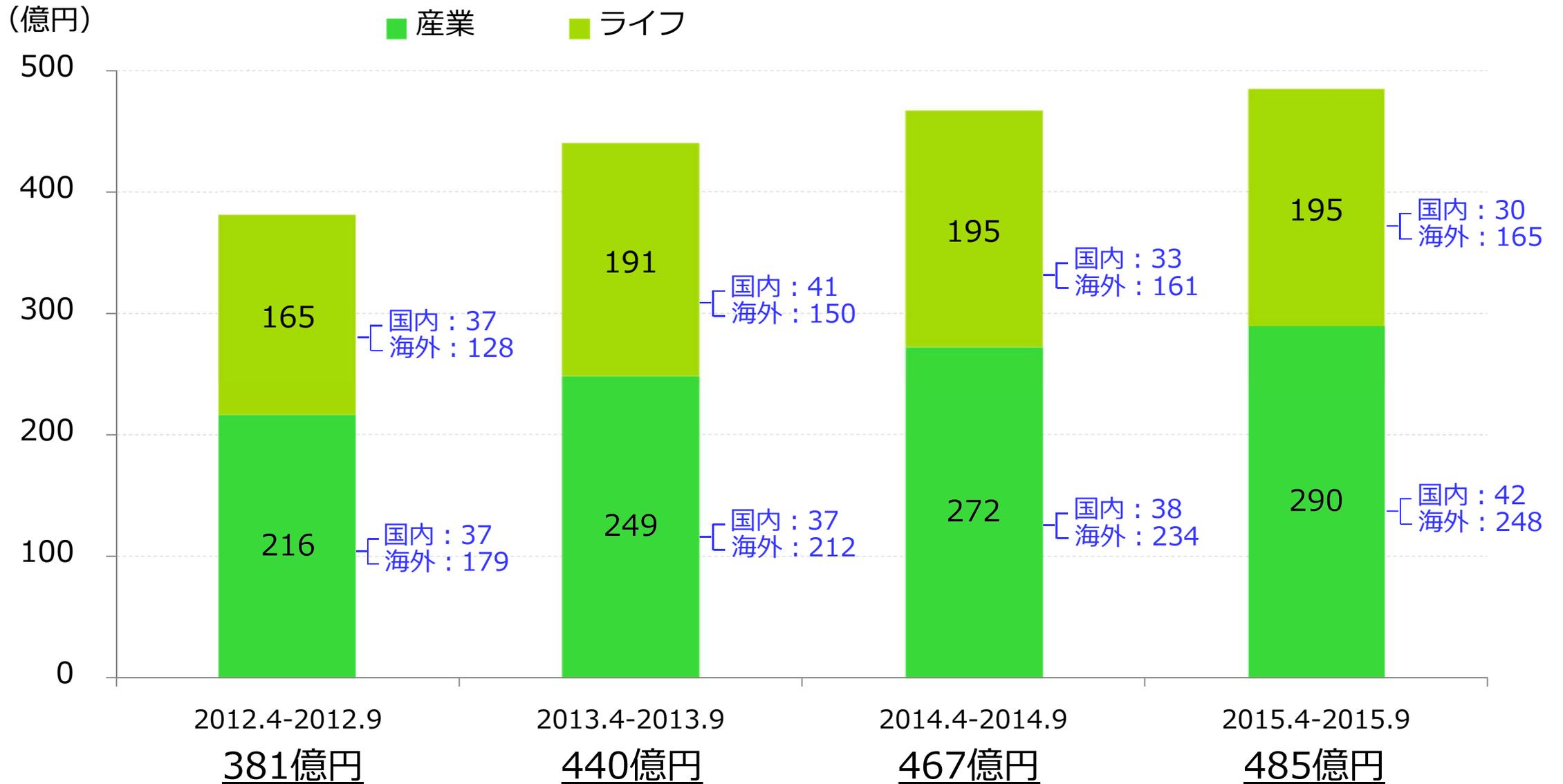
【参考資料】設備投資



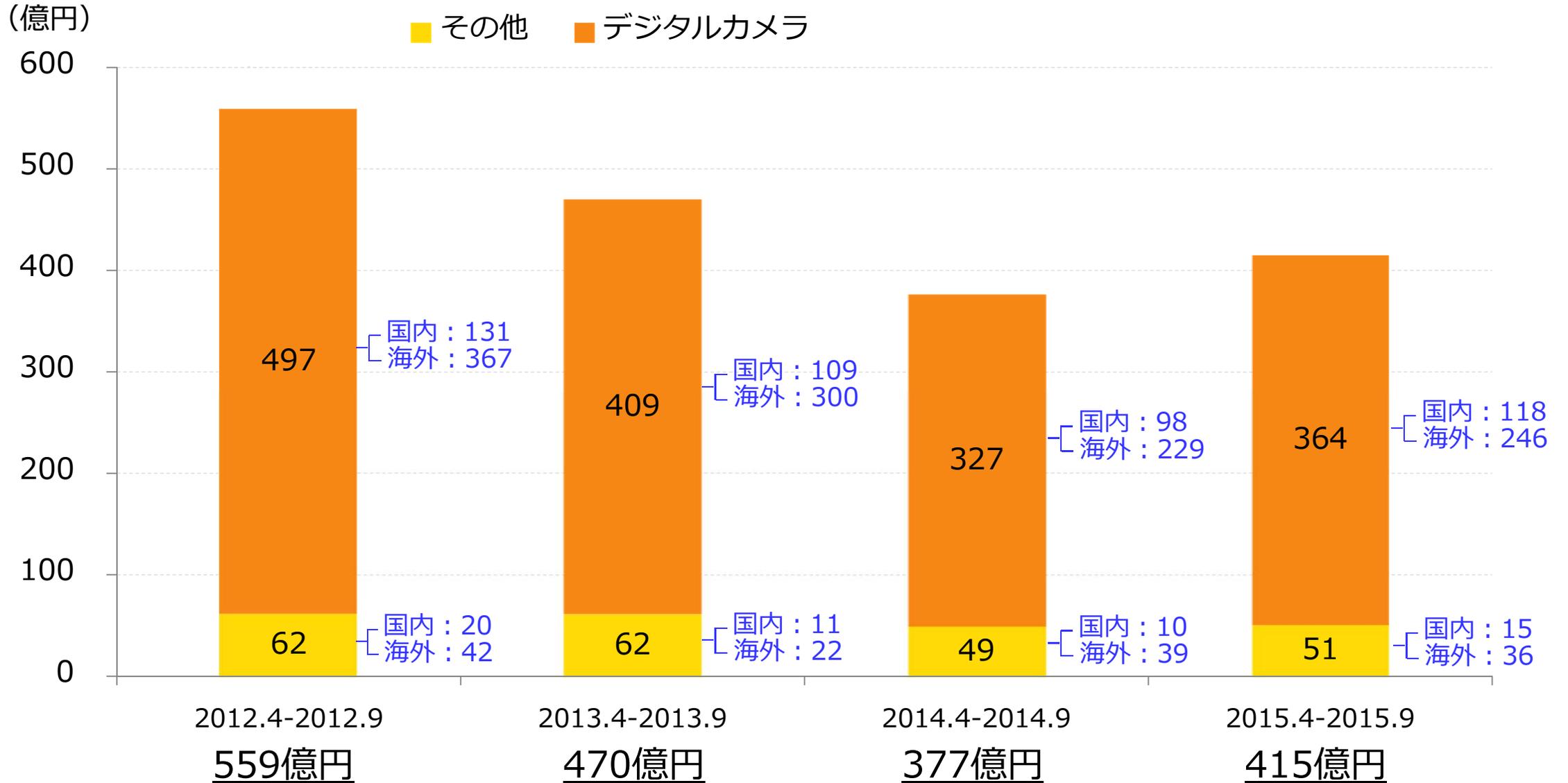
【参考資料】分野別売上高 (医療)



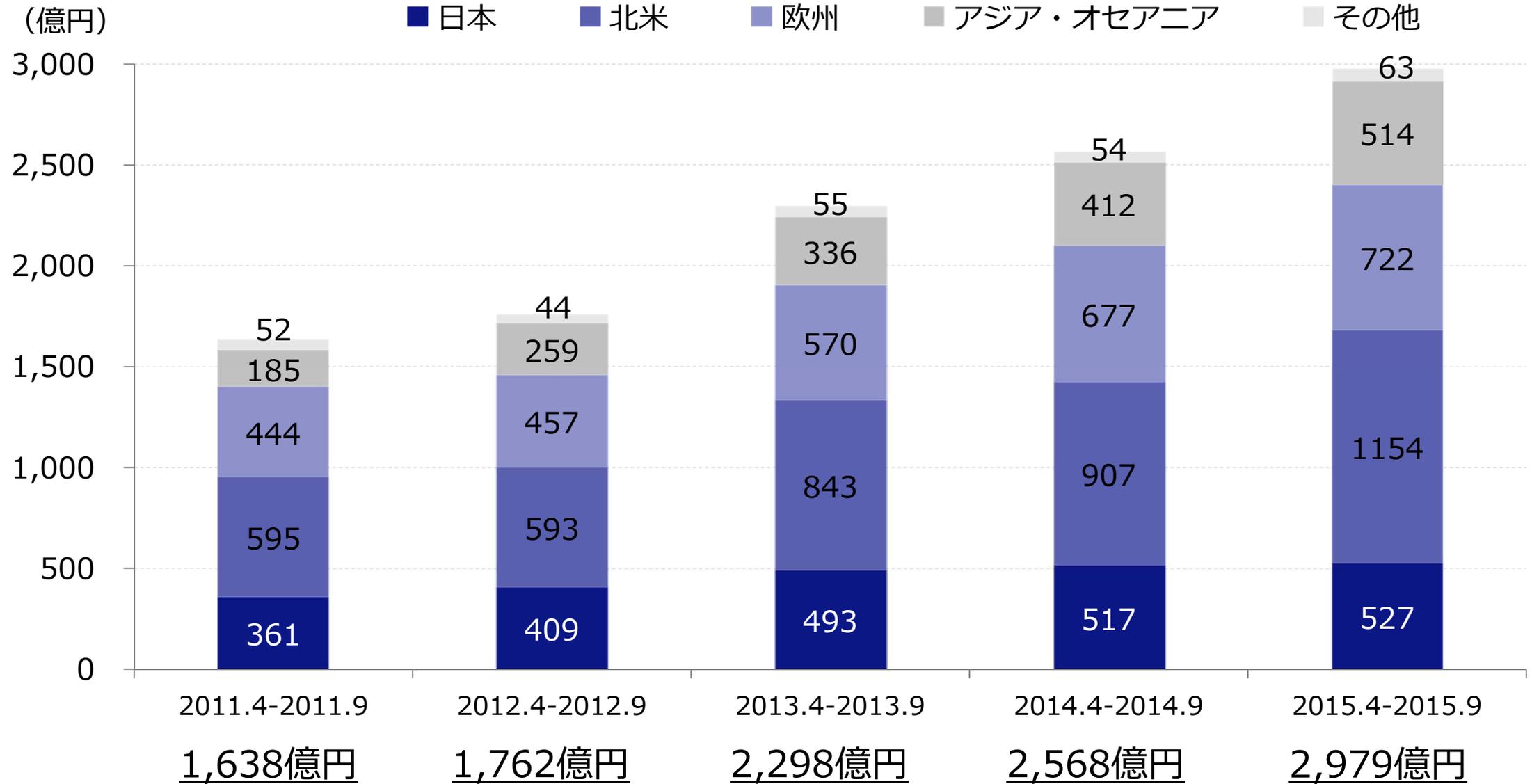
【参考資料】分野別売上高 (科学)



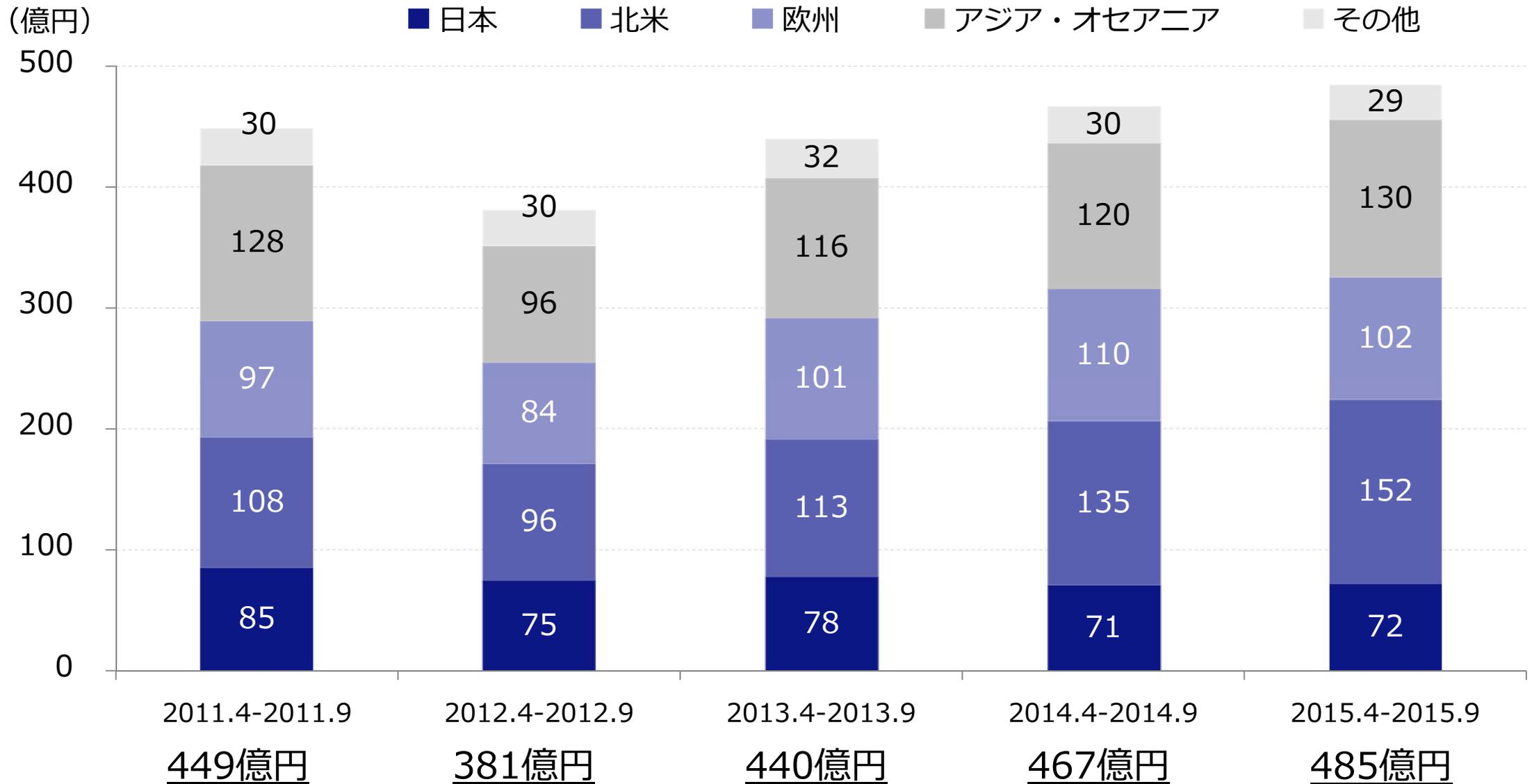
【参考資料】分野別売上高（映像）



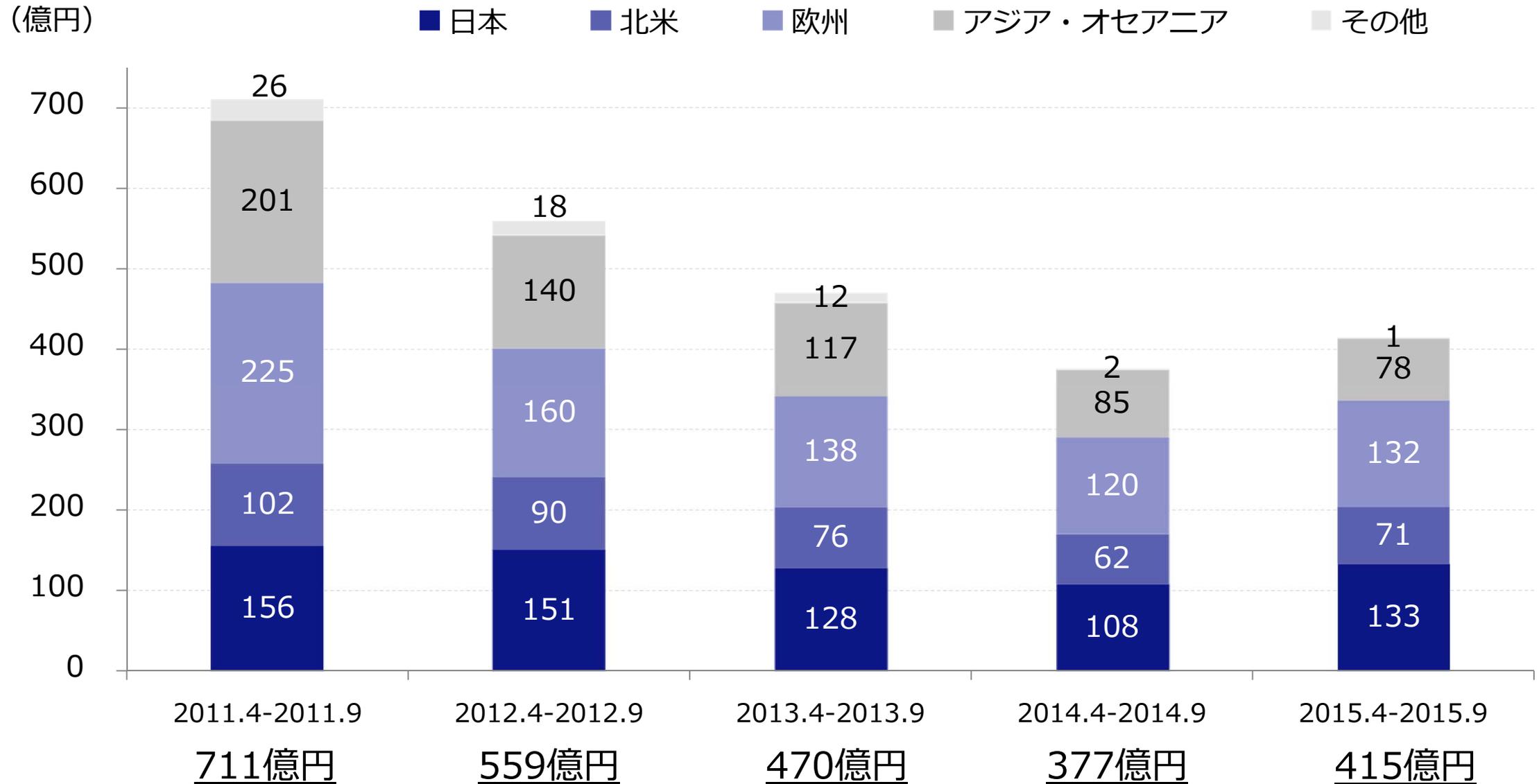
【参考資料】地域別売上高 (医療)



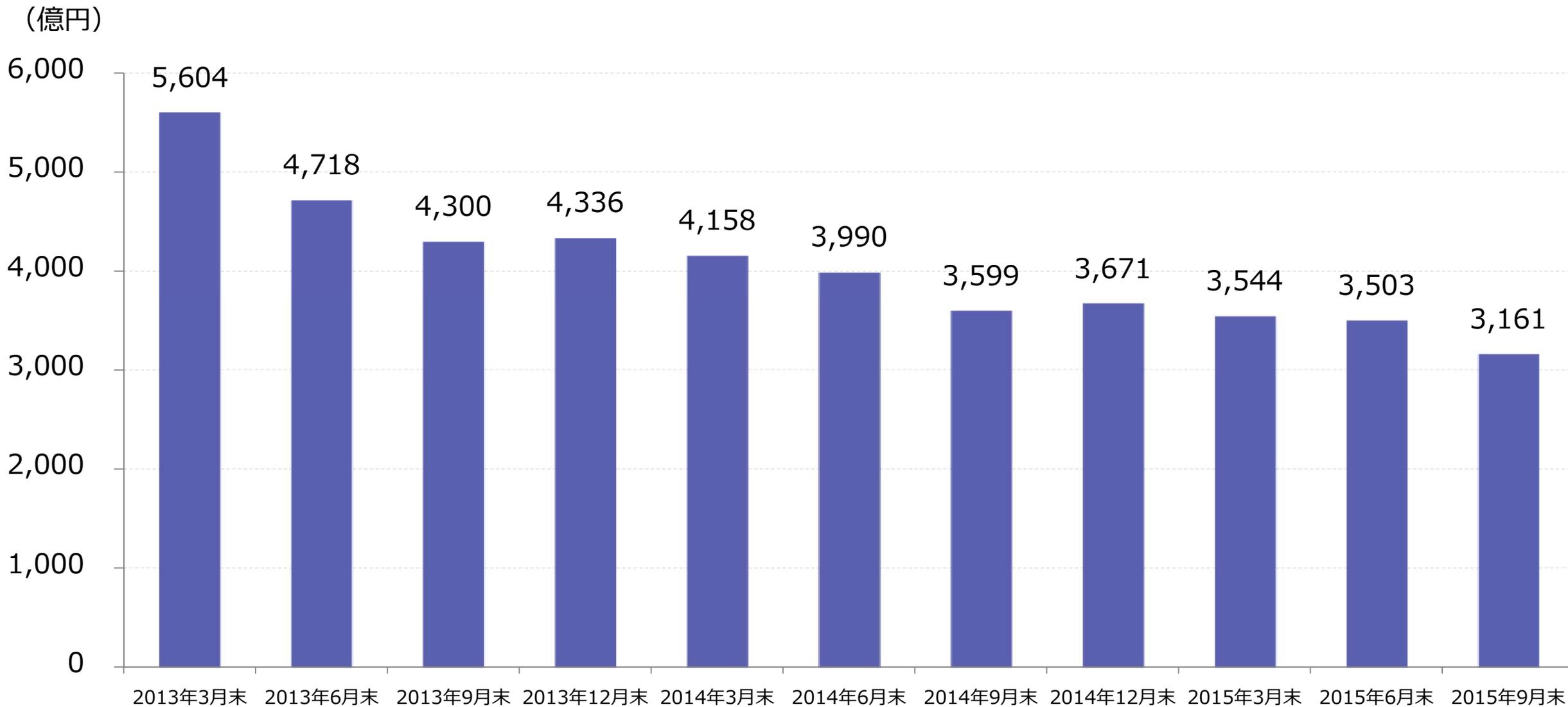
【参考資料】地域別売上高 (科学)



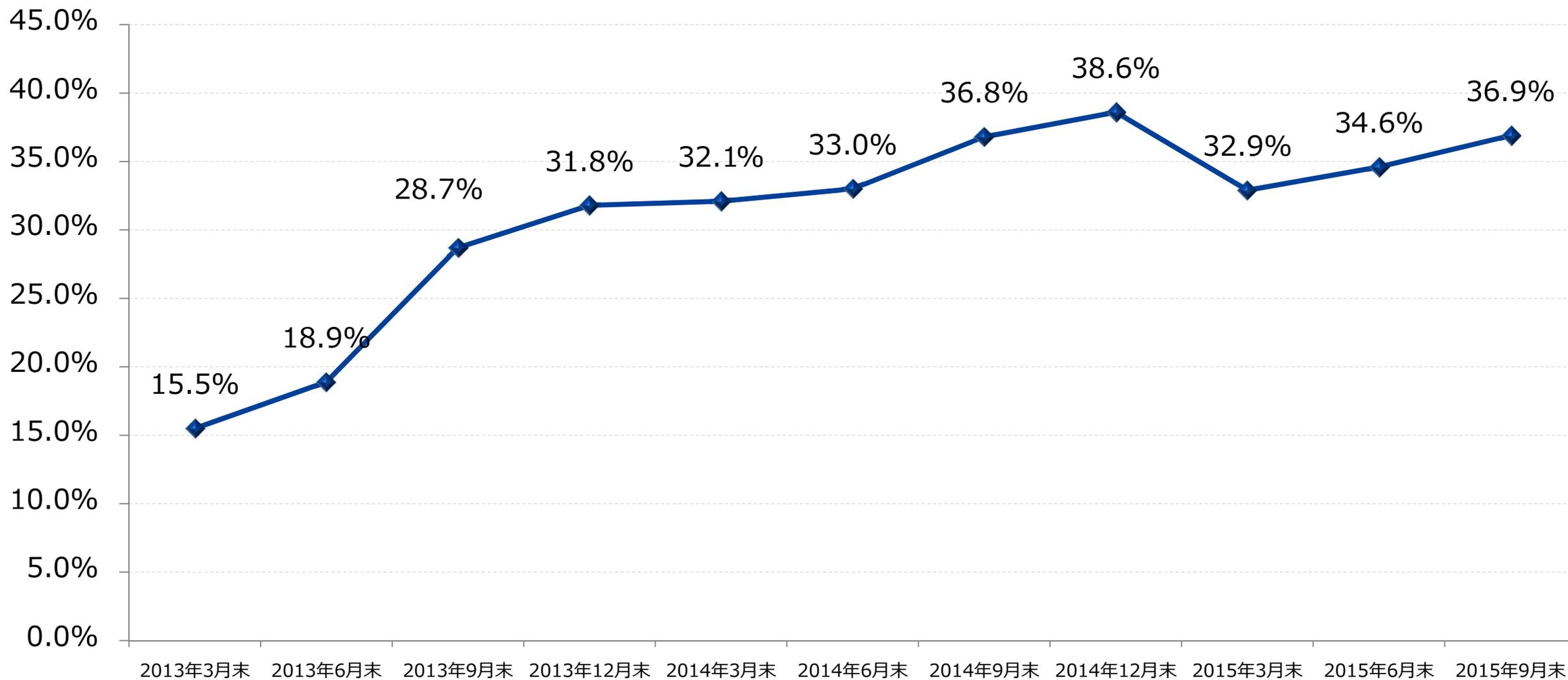
【参考資料】地域別売上高 (映像)



【参考資料】有利子負債



【参考資料】自己資本比率





- 本資料のうち、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。